

笠間てくてく栗図鑑2012版

掲載店募集

笠間市は、全国有数の栗産地として、地元産の栗を使った料理や菓子に掲載したパンフレットを制作し、産地PRおよび更なる消費拡大を目指しています。

今秋に「笠間てくてく栗図鑑2012版」を発行するにあたり、産地PRにご協力いただける店舗を募集しています。

◎対象者

笠間市に住所を有する旅館業者、飲食業者、製菓業者

◎要件

「笠間市産の栗を使った」「料理」「菓子」等の加工品を販売している店舗。

ただし、笠間市産の栗を使ったペースト等の加工品を使用することも可。

※内容によっては、掲載できない場合もありますのでご了承ください。

◎掲載料金 無料

◎申込期限 7月13日(金)

◎申込み・問合せ

農政課(内線527)



農政課からのお知らせ

アグリ旬

笠間の名産品・梅雨に似合う
ハナショウブ 銘柄推進産地にも
指定されています



銘柄推進産地って、なんだろう？

高品質な作物を安定的に生産・出荷でき、また消費者のニーズに応えられるなど、実力がある産地のことで、茨城県が指定するもの。笠間市は、平成7年にハナショウブの銘柄推進産地に指定されました。生産者の減少や後継者不足などの課題もありますが、全国でも希少なハナショウブ産地のひとつであることに、生産者の皆さんは誇りをもっています。

ちなみに、笠間市はクリとナシ(岩間地区)の銘柄推進産地に、さらにコギクの銘柄産地(銘柄推進産地より難しい指定要件を満たす)に指定されています。

ハナショウブって、どんな花？

上品な花姿と端正な葉が特長のハナショウブは、アヤメ科の多年草。花の色は紫、白、ピンクなどさまざま、花の中の黄色い斑紋が目印です。端午の節句で菖蒲湯に使われるショウブとは、実は違う植物です。ショウブはサトイモ科に属する多年草であり、細長い形の葉は刀に見立てられ、また名前は「勝負」や「尚武(武芸を尊ぶこと)」とかけられて、縁起ものとされてきました。

ハナショウブは、6月中旬まで開花します。ご自宅等に飾って、ハナショウブ特有の和の趣を楽しんでみてはいかがでしょうか。

筆耕：農政課(内線527)

<JA茨城中央花菖蒲部会>



↑私たちが、丹精込めて生産しています。

↓出荷目揃会の様子。
市場出荷するハナショウブの切り前(つぼみ)や、曲がりなどの規格を生産者皆で確認。

←お客さんの手元に届くとき、ベストの状態になるように、つぼみのままで出荷。
写真のハナショウブは、2日後には花が見ごろを迎える。

笠間市のハナショウブについてのお問合せは、
JA茨城中央花きセンター (Tel:0296-77-8164)へ